

2回目 晩秋処理の新提案

しつこいスズメノカタビラには オレオールフロアブル

防技研*
でも提案

*ゴルフ場防除技術研究会

スズメノカタビラ防除は雑草防除の重要課題です。気象条件や管理手法の変化からか防除に苦慮されているコースも多く報告されています。そんな中、早秋**と晩秋***の**土壌処理剤2回散布**に注目が集まっています。全面は難しくとも、グリーン周りなどコース内の重要箇所だけでも検討されてみては如何でしょうか。晩秋散布のEnvu推奨はオレオールフロアブルです。

平野部において：**おおよそ9月 ***おおよそ11月



10月土壌処理剤 A+アシュラム剤

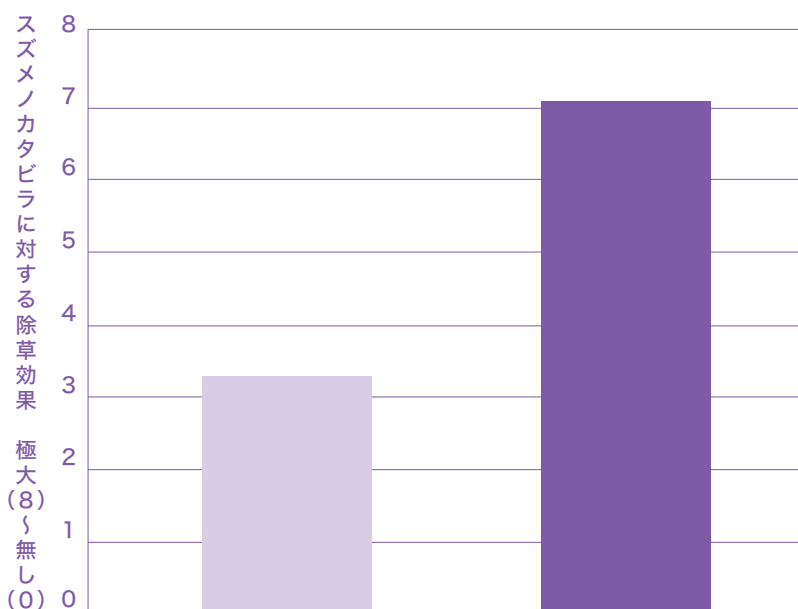


9月土壌処理剤 A →
11月オレオール 0.4mL/m²+アシュラム剤

9月
慣行土壌処理剤



11月散布
オレオールフロアブル



9月土壌処理剤 A →
10月 土壌処理剤 A+アシュラム剤 11月オレオール 0.4mL/m²
+アシュラム剤

試験場所: 東京都Aゴルフ場フェアウェイ
処理時期: 2023年9月11日、10月11日、11月8日
散布水量: 200mL/m²
調査費: 2024年2月14日

オレオールフロアブルの秘密は裏面へ

晩秋のオレオールフロアブルの特徴



そもそも
晩秋2回目散布の懸念点は？

- ・早秋1回目と異なる作用性？
- ・気温が低くても効果ある？
- ・日本芝への影響は？
- ・ベントグリーン周りでも使える？

独自作用性の PPO阻害剤

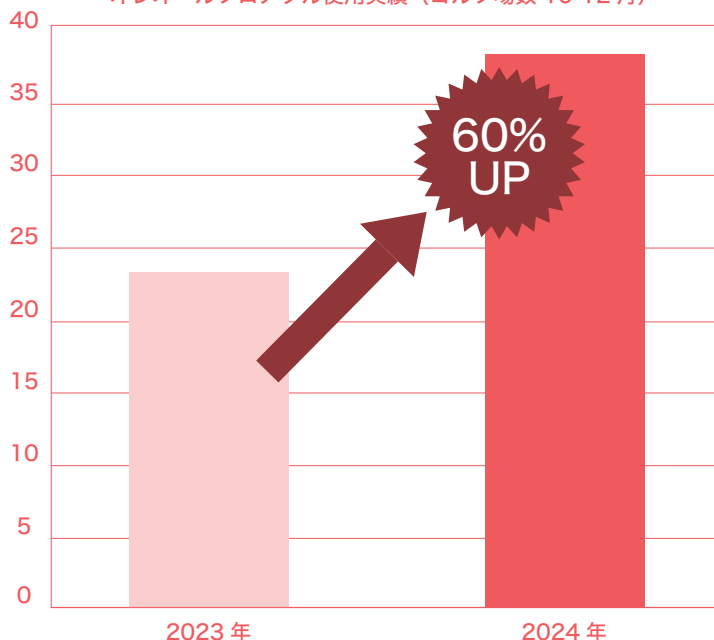
光要求型で気温が低くても効果安定。抵抗性マネジメントにも安心

芝に対する 高い安全性

ポイントは根への影響が少ないこと。早秋、晩秋2回散布によるダメージの心配も減少。ベントグリーン周りでも使用可能

晩秋関東から九州まで実績拡大中！

オレオールフロアブル使用実績（ゴルフ場数 10-12月）



上手な使い方

- ・芝生育休止期（茎葉の一部に緑色が残っていても生育が停滞している時期）に使う。
- ・光要求型なので、晴天・日中の散布を控えることで薬害リスクを減らせる。
- ・既発生の雑草がある場合は、茎葉処理剤と組み合わせる。寒地型芝草に飛散しないように注意する。



LINE
公式アカウント

タイムリーな芝草管理情報を配信中！

- 1 LINEの「ホーム」から右上のアイコン  をタップ
- 2 右記のQRコードを読み取って、友だち追加！

